

平成21年（2009）12月3日～7日

平成21年度（2009）

第4回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表

平成21年度（2009）第4回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

12月3日（木） 10:00 開会			12月4日（金） 10:00 開会			12月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	米山 広志	1	1	西村 亮	7	1	板倉 明弘	13～14
2	勝部 順子	1～2	2	板垣 成二	8～9	2	萬代 弘美	14～15
3	川上 幸博	2～3	3	狩野 正文	9	3	板倉 一郎	15～16
4	長廻 利行	3	4	遠藤 力一	10	4	小村 吉一	16
5	大国 陽介	3～4	5	珍部 全吾	10～11	5	多々納 剛人	17
6	山根 貞守	5～6	6	原 隆利	11	6	曾田 盛雄	17～18
7	木佐 宏	6～7	7	高野 成俊	12～13	7	直良 昌幸	18
8	杉谷 寿之	7						

平成21年度（2009）

第4回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	24 米山 広志		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 古志採石事業	1. 地下資源の枯渇はいつ頃か 2. 跡地利活用についての地元協議	市長	
2. 出雲ゆうプラザの 駐車場用地	1. 駐車場の賃貸期間はいつから契約されているか（有償は何年度から） 2. 駐車場の借地料 3. 第三者に駐車場の使用を許可した例があるか	市長	
3. 出雲エネルギーセ ンター・ガス化炉	1. レトルト交換の費用 2. レトルト交換の要因 3. ごみ外部処理委託費のトン当たりの単価と随意契約か競争入札か	市長	

質問者	23 勝部 順子		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市民の健康を守る ための政策について	1. 生活習慣病対策、健康診断未受診者対策について (1) 特定健診の受診の状況と、受診されない方への対応について (2) 小児の肥満傾向は、年々高まり、現在の学童期小児の10人に1人が肥満児と 言われています。高度の小児肥満では、早い時期から糖尿病・高脂血症・高血圧 などの生活習慣病を発生します。肥満の発生時期が早ければ早いほど成人肥満に 移行しやすいことがわかっており、生活習慣が変えやすいうちから予防する事が 非常に重要です。市内の児童の状況、対応について伺います。	市長	

	<p>(3) 自宅などで、できる血液検査（キット健診）の導入について</p> <p>2. 冬本番の新型インフルエンザ対策への取り組みについて</p> <p>(1) 新型インフルエンザワクチンの接種の実態と、今後の見通しについて</p> <p>(2) 接種費用は2回分で6,150円かかります。国が負担軽減を講じる生活保護者や住民税非課税世帯に加え、すべての優先接種対象者に対する、ワクチン接種費用の助成を求めますが、市長の考えを伺います。</p> <p>(3) この時期は、受験生にとって勝負の冬でもあります。小中学校での予防と対策について伺います。</p>		
2. 子育て支援について（子育て応援特別手当）	<p>子育て応援特別手当支給事業の執行が、政権交代により停止されました。理由は、新たな政権がマニフェストに掲げていた「子ども手当」の財源にするためです。この事業は、大変厳しい経済状況の今、就学前の児童を育てている家庭を支援するための施策で、すでに全国の自治体で準備がされていました。全国では、独自に支給をする自治体もあります。</p> <p>(1) 政府の「子ども手当」に対する財源確保や、目的、対象などの考え方について、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 子育て応援手当を、出雲市独自に支給をする事はできないのか伺います。</p>	市長	
3. 出雲市立総合医療センターの改革について（経営健全化への取り組み）	<p>1. 事務長を民間から公募し、徹底した「病院改革」に取り組むことを要望。</p> <p>2. 医師・看護師不足の状況は、ますます厳しさを増しています。現時点での医師・看護師の確保の状況と、確保のための取り組み、今後の見通しについて伺います。</p>	市長	

質問者 14 川上幸博

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 限界集落（基礎的 条件の厳しい集落） について	<p>1. 準限界集落、限界集落と言われるような地域があるか伺う。</p> <p>2. 少子高齢化の進展により社会的共同生活が困難となっている地域に、現在出雲市として、どのような手立てが講じられているのか伺う。</p> <p>3. 限界集落や準限界集落に向かわないようにするため、予防行政が必要と考えるが、どのような考えを持って臨まれるのか伺う。</p>	市長	

	<p>4. 6月議会において、定住支援策として、地域の実態調査や活性化策の提言をする集落支援員制度の導入や地域の活動を支える企業や団体を募り集落機能を維持させる制度を検討していくとありましたが、現在の状況について伺う。</p> <p>5. 過疎法について伺う。</p> <p>6. 若者の定住支援について伺う。</p> <p>(1) 企業誘致の実情</p> <p>(2) 産、官、学連携による地域ブランドの確立の状況</p>		
2. 政府の行政刷新会議による事業仕分けによる出雲市への影響	<p>1. 市道、農道整備への影響</p> <p>2. 農林業振興への影響</p> <p>3. そのほかの出雲市事業への影響</p> <p>4. 以上の影響に対し出雲市としてどのような対応をしていくのか伺う。</p>	市長	

質問者	30 長 廻 利 行
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
大社町青色防犯灯パトロール隊への現金支給問題について	この問題について、市の調査では青パト事業の目的を逸脱していないとの結果を公表されたが、本当に適正な支出であったかどうか伺う。	地域振興 部長	

質問者	7 大 国 陽 介
-----	-----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市長の政治姿勢について	国の社会保障費抑制路線の影響や、この間の厳しい経済情勢のもと、市民生活及び中小業者の営業は困難を極めている。このような状況の中、市民の暮らしを守るべき自治体としての役割は大きく、その姿勢が問われるときでもある。市民生活に対する市長の現状認識及び市民の負担軽減、中小業者の仕事確保など、市民の苦難解決に向けての市長の決意を伺う。	市長	

2. 中小業者の経営支援と仕事確保について	<p>1. 不況のもとで特に中小業者の仕事確保は深刻な課題である。中小業者の受注機会の拡大を図るため、小規模修繕工事等希望者登録制度の改善を求めるが、いかがか。</p> <p>合わせて、現在の登録者数と制度の周知状況を伺う。</p> <p>2. 商工会議所、商工会の組織率が5～6割にとどまる中、制度融資の申し込み受付窓口は商工会議所と商工会のみとなっている。さらに商工会議所では、会員は5,000円、非会員は6,000円の手数料が必要となる。受付窓口の拡大と手数料負担軽減を求めるが、いかがか。</p> <p>3. 県の企業立地促進助成金等、現在の優遇制度のもとでは、中小業者は対象にならない。不況下の今こそ、中小業者の事業拡張や雇用拡大等への支援策の抜本的な強化を求めるが、いかがか。</p>	市長	
3. 国民健康保険について	<p>1. 減免制度の前年度及び今年度の適用実績を示されたい。</p> <p>2. 保険料の減免制度の周知徹底で、市民の負担軽減を一層図られることを求めるが、いかがか。</p> <p>3. 国民健康保険法第44条に基づく一部負担金の減免制度の一日も早い制度化を求めるが、いかがか。</p>	市長	
4. 市民からの生活相談及び、税や保険料の納付における対応について	<p>1. 生活保護や生活福祉資金の相談にあたって、「一人で窓口へ行ったが、いろいろ事情を聞かれ申請までできなかった」「電話先でいろいろ言われ、よくわからないが、断られた」など、納得されずに申請をあきらめるケースが見受けられるが、社会福祉協議会を含めた窓口対応の改善を求める。</p> <p>2. 税や保険料の滞納者に対して、生活の実態を把握しようと努力されていると思うが、滞納者に対する対応が税の納付先にありきで、市民の立場に立っていない。現状に対する認識と対策を伺う。合わせて、財産の差し押さえ件数及び差し押え物件を示されたい。</p>	市長	
5. 市民税の減額・免除の制度について	<p>1. 市税には、必要に応じて減免制度が設けられている。減免制度の前年度及び今年度の減免実績を、出雲市税条例第33条第1項に掲げられている項目ごとに示されたい。また、出雲市税に関する減免要綱第2条第1項(2)に基づく減免実績を詳細に示されたい。</p> <p>2. 市民生活が困難なときこそ、減免制度を周知徹底し、市民の負担軽減を図るべきである。制度の運用が、極めて不十分であると言わざるを得ず、運用改善は急務の課題である。現状の認識を伺うとともに、抜本的な運用改善を求めるが、いかがか。</p>	市長	

質問者	10 山根貞守		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 高齢者クラブの活性化対策について	<p>今日の少子高齢化社会にあって、高齢者が急速に増えるにもかかわらず、全国的には高齢者クラブの数や会員数が減少する傾向にあり、今後の活動の衰退が大変に心配されるところです。</p> <p>これから益々高齢化が進めば、当然老老介護、独居老人世帯も増えてくることは間違いのない事実である。</p> <p>そうした時に、民生委員や福祉委員だけでは目が行き届かない又守秘義務等の面からも、制約された活動では自治体としての支援も当然満足のいく体制は取れないと思われる。</p> <p>それぞれの地域の高齢者同士であればこそ、昔ながらの気心が知れた仲間同士として、近況を把握する事が出来ると思われる。</p> <p>それを地域ごとに把握し、必要に応じて民生委員、福祉委員又は市役所への連絡体制をとるなど、安否確認システムを構築し高齢者クラブ会員全員が共通の情報を把握等することにより、安心をして地域で暮らす事が出来ると思います。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の組織及び会員数の状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 生涯現役として、定年退職後地域住民として広く活躍をして頂き、地域のまちづくり又は出雲市全体のまちづくりに大いに参加して頂くべきではないか、そのために思い切った支援をすべきであると考えているが、伺う。</p>	市長	
2. 保育園の定数増について	<p>平成22年4月から待機児童解消に向けての取り組みとして、160名の定数を増員する計画が進められていますが、これは9園の保育所で10名から30名を増員して160名の定員増をする計画ですが、保育所の保育基準単価は定員区分ごとに、10人単位に保育単価が定められております。</p> <p>この保育単価は、定員が多くなればなるほど単価が低くなっています。60人の定数から70人に、又90人から100人に、120人から130人に変更増とすれば措置費は下がります。</p>	市長	

	<p>60人定数のときの措置費収入よりも70人に増員しますと数百万の措置費収入の減となります。これは90人を100人、120人を130人に増員しても同じ収入減となります。</p> <p>この財政状況が厳しい状況の中で保育園の増築もしないで、少人数ずつの定数増で全体で160名の定数増を図り待機児童解消に向けた取り組みは、やむを得ない緊急的な処置であるとも考えられるが、定数増により園児1人当たりの保育スペースも当然少なくなり危険も多くなるわけであります。</p> <p>そうした点につきましても十分な対応、指導もお願いするものです。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 定数増とされる保育園名とそれぞれ定員増とされる増員数を伺う。</p> <p>(2) 60人から70人、90人から100人、120人から130人の措置費の減少はそれぞれいくらかの伺う。</p> <p>(3) 措置費収入が減少する保育園に対して減収分の補填はしないのか伺う。</p>		
--	--	--	--

質 問 者	4 木 佐 宏			
質 問 事 項	質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市全域の農地の水害対策の具体的指針を求める	<p>旧平田市圏域においては、特に美談から国富下地区の国富川沿いの農業用ビニールハウスへの冠水が、雨季において、年に1～2度とは言え関係農家にとっては、一夜にして収穫を直撃する苦悩課題、日常においては、農業用排水と生活排水が主であるが、洪水時旅伏山南斜面谷川から流入する、流量は平成10年度から7年間に亘り、国富地域防災対策総合治山事業を膨大な費用を投じ実施され、砂防ダム建設、流域河川整備をして戴いた実態が事の重大さを物語っています。</p> <p>水系唯一の排水河川は国富川のみであり、昭和62年に国富川拡幅改良促進期成同盟会が美談、国富の上・下合同で結成され、爾来、陳情が数え切れないほど行われて来たが、主権者地域住民の河川改修の悲願は達成されず、本年も一部とは言えハウス内への浸水騒動が起きている。</p> <p>速やかに所管セクションにおいて現地視察を実施戴き、地域農業者の意見聴取も忘れずに実行し、適切妥当なる対処指針を示してください。</p>		市長	

2. 旧平田市地域における公共施設建設に関する提言	放課後児童クラブ、幼稚園等について	市長	
---------------------------	-------------------	----	--

質問者	33 杉谷 寿之
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
市税の滞納問題について	<p>1. 平成20年度出雲市会計決算に於いて、歳入のうち市税滞納金（国保料金等を含む）の収納は、どの様に執行されているのか。前年度と比較しその推移をどの様に把握しているかを伺う。</p> <p>2. 滞納金整理の為に、どの様な方策をとっているのか。増大しつつある現状に、如何に対応してゆくのかを伺う。</p>	市長	

質問者	5 西村 亮
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 消防団組織の今後について	<p>1. 組織の見直し（検討結果）</p> <p>2. 安全対策、緊急体制</p> <p>3. 消防協力組織活動助成</p>	消防長	
2. 道路排水路の除草作業について	<p>1. 県の（ハートフルしまね）愛護活動支援制度との比較</p> <p>2. 市道路線（2, 121 km）のうち除草路線の延長</p> <p>3. 内部検討結果、土木委員に諮った結果</p>	建設事業 部長	

質 問 者	2 板 垣 成 二
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 自主自立の財政運営について	<p>1. 地方財政法では実質収支の1/2を下らない金額を翌々年度までに積み立てるか、地方債の繰上げ償還の財源に当てなければならないとされています。しかし、合併以降、財政調整基金、減債基金は一度も積み立てられず、繰上げ償還の財源になったと思われます。そのため財政調整基金は、合併時の47億円弱から19億円弱、減債基金は15億円弱から10億円弱になっており、非常に心もとない数字です。このことは、出雲市財政の厳しい現実を表していると考えますが、市長のご見解、また、今後どう対応されるのか伺います。</p> <p>2. 市長は施政方針で「すべての事業についてゼロベースでの予算査定を実施する」とおっしゃっていますが、具体的にはどのような基本的考え、手法で実施されるのか伺います。</p>	市 長	
2. 職員の定員管理について	<p>「21世紀出雲市行財政改革大綱」（平成17年12月策定）では、合併後10年間で職員255名を可能な限り早期に削減するとなっています。職員削減については異論ありません。しかし、一方で合併以降の一般職の新職員採用は毎年2名程度です。このまま推移すれば10年間でわずか20名程度の職員採用という結果になり、全体的には非常にいびつな年齢構成となります。この状態では近い将来、重大な問題が生じると考え、下記の点について伺います。</p> <p>(1) 職員削減についての現状と今後の見通し (2) 新職員採用についての考え (3) 年齢構成がいびつになっているということへの対応</p>	市 長	
3. 防災行政無線整備について	<p>防災行政無線については、既に今年度における佐田地域の黒山中継局の整備をはじめとして、多伎、湖陵、出雲地域南部への整備方針を決定いただき、事業概要も佐田自治協会や出雲市南部の自治協会長、土木委員長に説明されたところです。</p> <p>しかし、その中で各世帯への個別受信機は自己負担があるとの説明があり、11月26日には佐田自治協会、多伎町連合自治会、湖陵町区会連合会から「出雲市防災行政無線の設置及びデジタル化の際の住民負担の無料化について」市長要望もなされました。</p>	市 長	

	<p>要望書では無線による音声伝達の重要性・必要性が述べられ、住民の安心、安全を守るのは行政の責任であるとの基本的な考えに立ち、個別受信機、屋外アンテナ等の設置についても住民負担のない形（無料）での整備が要望されています。</p> <p>防災行政無線の個別受信機は全世帯に必要であり、普及率100%を目指していただきたいと考えますが、市長のお考えを伺います。</p> <p>また、地域経済活性化の視点から、個別受信機を地元業者に発注してはどうかと考えますが、実現の可能性も含め、市長のご見解を伺います。</p>		
--	---	--	--

質問者	3 狩野正文
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
出雲のブランド戦略の基本的な考え方について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市長公約である「出雲のブランド戦略」の取り組み状況と基本的な考え方について伺う。 2. 産業、観光、交流活動の活性化の基盤としての出雲地域のアピールの重要性について伺う。 3. 生活の営みや生産の様子と歴史・文化の融合の視点から地域財産の発掘と認識の必要性について伺う。 4. 戦略策定に至る住民啓発の展開方法について伺う。 5. 「出雲生活体験の場」としての学校教育における交流活動などを組み入れるなど市の総合施策としての取り組みの必要性について伺う。 6. 構想、戦略策定に時間をかけるのではなく、行動しながら構築していく機動性の必要性について伺う。 	市長	

質 問 者		9 遠 藤 力 一	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. メディア漬けで壊れる子どもたちについて	1. 家族のつながりと変化についてどのように捉えているか 2. 児童生徒の変化と問題行動で目立つものは何か 3. 出雲の子どもたちのメディア接触の実態は 4. ケータイやインターネットの接し方のルールはできたか 5. メディアリテラシー教育への取り組みは	市 長	
2. 学校図書館へ司書の配置を	1. 読書ヘルパーの導入の成果は 2. あらためて学校司書の配置を求める	市 長	
3. 介護保険制度のさらなる充実を	1. 地域あんしん支援センターの現状を問う 2. 老老介護・家族介護への支援について	健康福祉部 長	

質 問 者		32 珍 部 全 吾	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市合併5周年記念市政功労者表彰式について	市政施行5周年を記念して、出雲市表彰条例に基づき、政治、経済、福祉、教育、文化等各般にわたり、本市の発展と市民福祉増進に功績のあった方に対し、表彰を行い、平成22年3月22日に表彰式を行うとの事だが (1) その目的は。 (2) どの様な方が対象になるのか。 (3) 事業費7,500千円が本議会に補正予算として上程されているが、この金額についての所感は。	市 長	

2. 国際交流事業について	1. 現在までの国際交流事業についての市長の所感は。 2. 国際交流員の活動について又その費用対効果は。 3. 国際交流課を国際戦略室にしてはどうか。特に鳩山総理の東アジア構想の一環として出雲市の東アジア対策を検討してはどうか。	市長	
3. 連続立体交差事業第2期工事について	2期区間については、休止後10年以内（平成23年3月末まで）に事業の可否を含めて検討とのことであるが (1) 現況について、県の認識はどうか。 (2) 高架ともなう南北の街路の計画はあるのか。 (3) 2期区間休止に伴い県が示した街路事業についての進捗状況はどうか。 (4) 今市古志線2工区の現況はどうか。	市長	

質問者	27 原 隆 利
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 自治基本条例について	1. 現在までの検討結果と取り組み状況 2. 行政不信と信頼度 3. 住民投票の考え方 4. 市長の任期制限	市長	
2. 行財政改革について	1. 人員削減と業務量チェック（合併時からの年度別） 2. 臨時、嘱託職員数の変化（合併時、現在） 3. ゼロベースでの見直し結果 4. 見直し基準の設定	市長	
3. トキ分散飼育について	1. その後の県・国の支援体制 2. 漢中市との友好関係を生かした市独自のトキ招聘の可能性 3. 昨年の北京訪問の成果（北京と漢中との関係は） 4. 国の求める、鳥インフルエンザへの対応策とその費用 5. 市の考えるトキ飼育センターの概要は 6. 出雲市でのトキ放鳥の時期予測（公開時期、大型ゲージ飼育、放鳥に至る）	市長	

質 問 者	17 高 野 成 俊
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 幼稚園と保育園の一元化問題について	<p>幼稚園と保育所は、運営基準や職員の資格（幼稚園は幼稚園教諭、保育所は保育士）も異なります。また、管轄する国の機関も幼稚園の管轄は文部科学省、保育所の管轄は厚生労働省と異なっております。しかし、近年進行している構造改革の一環として、幼稚園と保育所の運営の非効率さを是正する必要性がずいぶん前から指摘されてきました。</p> <p>特に、幼稚園と保育所の施設や運営を一元化することで財政的に効率的な経営を行おうとすることも可能であることから、全国の自治体でも取り組んでいる現状です。また、都市部では待機児童の増加していることもあり、定員オーバーとなっている保育所が多い中、定員割れを起こしている幼稚園にそうした待機児童を担ってもらうという政策的な考えもあるわけであります。これは、幼稚園が時間外保育をするなどの動きであります。</p> <p>まさに、出雲市も近年の保育所へのニーズの高まりから新設保育所の補助、また、増員による改修工事費など多額の費用を要している中、一方の幼稚園は園児の減少が進んでおります。</p> <p>また、保育所の無い地域では幼稚園が時間外などで、保育所ニーズに対応している現状もあるわけであります。保護者負担も双方の保育時間を鑑みても差が生じている現状です。</p> <p>職場の関係から保育所を選択するケースを除いては、多様化してきている幼児保育、幼児教育のニーズに応える為にも、幼保一元化は有効な施策であるとも考えますが、このような状況から市長の幼保一元化についての所感をうかがう。</p>	市 長	
2. 斐川町との合併問題について	<p>斐川町との合併については、議会でも本会議の一般質問や全員協議会の場などで、これまでも様々な意見・議論がされてきた。そして斐川町側から法定協議会設置の要望がなされて以降、市民に対し合併についての説明をするべく、市長は10月20日から11月17日にかけて、斐川町との合併についての市民説明会を開催された。</p> <p>自治会連合組織の代表者45名、コミュニティセンター長会36名をはじめ、他市内10箇所において地域ごとに開催され、参加人数は420人であったと聞いている。</p>	市 長	

	市議会にもこの度の市民説明会の趣旨、そして内容についても説明があり、この度の説明会に臨まれたわけであるが、説明会での市民から出された様々な意見を踏まえて現在の市長の所感を伺う。		
3. 住宅政策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市内の公営住宅・団地の総世帯を伺う。(個別) 2. 最長の入居者で何年であるのか伺う。 3. 待機者は何件で、最長何年待たれているのか。 4. 入居の出来るか否か判定方法は。 5. 住宅・団地建設費とこれまでの維持管理費(個別) 6. 住宅建設からの家賃・その他収入合計は。 <p>以上の結果から将来の公営住宅の整備についての考え方を伺う。</p>	都市整備部 長	

質問者	21 板倉明弘
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市駅付近連続立体交差事業第二期工事について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市計画マスタープラン出雲・中央地域のまちづくりの中での大津地区の都市計画プランと連続立体交差第二期事業および関連する都市計画道路について市長の見解を伺う。 2. 大変危険な大津里道踏切の抜本的な安全対策は、どのような方法があるのか伺う。 3. 本市の重点施策として連続立体交差事業第二期工事の着手について、平成18年より毎年県知事要望をしている。県からの回答と今後の整備スケジュールを伺う。 4. 本市のその後の具体的な取り組みを伺う。 	市長	
2. 市内小中学校のプール施設の改修方針について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校プールの使用状況と毎年支出している維持管理費および修繕費を伺う。 2. 各小中学校プールの施設状況および今後の改修計画を伺う。 3. 民間プールを利用する水泳授業の状況を伺う。 4. 古いプールを廃止し、年中使用できる屋内プールを1つ新設し、水泳授業はバス送迎で対応する方法を調査・検討してみてもどうか。また、水泳授業に民間プール等をもっと活用してはどうか。市長の見解を伺う。 	市長	

3. 乳児と保護者を学校に招いて交流する「赤ちゃん登校日」授業について	1. この取り組みについて、市長の感想と見解を伺う。 2. 来年度、「赤ちゃん登校日」授業が民間ボランティア団体と行政が協働して取り組む事業に発展することを望む。市長の所見を伺う。	市長	
-------------------------------------	---	----	--

質問者	22 萬代弘美
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 防犯灯、街路灯の思い切った増設で安心・安全な街づくりを	<p>先般の浜田市の事件は、出雲市でも夜間の安全、安心を確保するために思い切った防犯灯の増設など、安全対策が求められている。現状は、防犯灯など市民の設置要望に充分応えられていない。設置基準、町内負担などを見直し、予算措置を行い、市民との協力で危険箇所をなくす積極的な取り組みを求める。</p> <p>(1) 「出雲市防犯灯設置要綱」の見直しや、街路灯の設置要綱を設けて、防犯灯、街路灯の思い切った増設を。</p> <p>(2) 学校関係者をはじめ父母、地域住民との協力で小中学校の通学路を定期的に総点検を行ない、必要なところに防犯灯を増設するなど安全対策の強化を。</p> <p>(3) 看護短大、島根大学医学部の周辺地域の総点検と学生への聞き取り等を行い、安全対策に向けた特段の取り組みを実施すべきではないか。</p>	市長	
2. 福祉医療制度について	<p>県の福祉医療制度が5年前に改悪されて、重度障がい者や一人親家庭など対象者の大幅な自己負担増がもたらされた。出雲市では独自の軽減策を実施し、県に対して制度の見直しの重点要望を行なうなど努力をされている。しかし、人工透析を行なっている高齢の方からは「わずかな年金の中から、多額の交通費負担、増えた医療費で苦しい」、一人親家庭のお母さんは、「所得基準が厳しいために、頑張って働くと対象から除外され、生活が厳しくなり不安である」など、福祉医療制度の拡充を求める切実な声が寄せられている。国においては新政権のもとで、自立支援法の見直しなどの方向が示されており、このようななかで拡充に向けた取り組みを求める。</p> <p>(1) 島根県に対して、重ねて制度の見直し、拡充を要望すべきではないか。</p> <p>(2) 一人親(母子)家庭の対象となる所得基準をせめて障がい者と同じような基準に引き上げるなど、実態に見合う緩和策(引き上げ)の実施を。</p>	市長	

<p>3. 後期高齢者医療制度について</p>	<p>75歳以上の高齢者に差別医療を押しつけ、新たな保険料の徴収を行なうなど、お年寄りいじめの後期高齢者医療制度は廃止に向けて特段の努力をすべきではないか。保険料が払えない人たちが生まれ、短期証がすでに発行されていることは受診抑制を引き起こすなど命にかかわる問題である。</p> <p>後期高齢者医療制度は、元の老人保険制度に戻すべきだが、新政権は、新しい制度をつくるまで先送りしようとしている。後期高齢者医療制度の保険料は2年ごとに際限なく上がる仕組みとなっており、来年度の保険料見直しによる負担増を心配する声があがっている。</p> <p>(1) 来年度からの保険料の引き上げはいくら見込まれているのか、こうした高齢者に対する負担増についてどのように受けとめているのか。</p> <p>(2) 国に対して、ただちに制度の廃止を求めるべきではないか。</p> <p>(3) 滞納者の実態と、正規保険証の全員交付について</p>	<p>市長</p>	
<p>4. 市民が利用しやすい公共施設の整備と管理運営について</p>	<p>1. 盲導犬の市民会館など公共施設での対応の問題について</p> <p>2. 施設利用料の障がい者割引の実施について</p> <p>3. 施設利用料のキャンセルの取り扱いについて</p> <p>4. 鱈淵寺などの市の観光スポットの利用しやすい整備について</p>	<p>市長</p>	

<p>質問者</p>	<p>12 板倉 一郎</p>
------------	-----------------

<p>質問事項</p>	<p>質問内容</p>	<p>答弁を 求める者</p>	<p>記 事</p>
<p>1. 地域主権に対応した職員のあり方について</p>	<p>1. 市長が考える新しい時代に適応した職員について</p> <p>民主党政権の中央集権制度を抜本的に改め、地域のことは地域で決める地域主権改革の取り組みなどにより、今後、地方自治体には、大きな権限、財源が移譲される。市役所職員に求められる能力が、今後大きく変わると考える。市長の考える職員とは、どういうものか伺う。</p> <p>2. 新しい時代に適応した人事評価制度について</p> <p>上記に対応した人事評価制度の見直しが必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>3. 民間企業派遣研修について</p> <p>10月から実施された民間企業派遣研修の状況について伺う。</p>	<p>市長</p>	

2. 新型インフルエンザへの対応について	1. 出雲市内における発症状況および出雲市の対応について (1) 市内での状況について伺う。 (2) 行政の対応はどのようなになっているのか伺う。 2. 新型インフルエンザ予防接種について (1) 出雲市における優先接種の人数について、対象毎の人数について伺う。 (2) 予防接種事業において、出雲市において問題は発生していないか伺う。 (3) 集団接種を要望する意見がある、出雲市として取り組む考えはないか伺う。	市長	
----------------------	---	----	--

質問者	6 小村 吉一
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 高齢者が輝きながら生きる施策について - 「福祉バス」などを中心に-	1. 高齢者が輝きながら生きるための市の施策の概要とその重点、今後の基本方向について伺う。 2. 現在、旧平田市と大社町では「福祉バス」（地区社協管理）が運行されている。又、旧平田市には「お茶の間バス」もある。その意義と今後の方向について伺う。見直しをしながら存続を。 3. 「福祉バス」など移動用交流手段は、高齢者の要望も強い。全市的な施策にしてはどうか。	市長	
2. シカ被害の早期解消と「シカと人との共生」について	1. シカ被害の現況について (1) シカの生育数と駆除数は（できたら年度別） (2) シカの生息範囲は、年々拡大しつつある。シカ被害額の概要は（累計と年度額） (3) シカ被害防止対策として、今までに投資した費用の総額とその効果。 2. 今後の計画と方針について (1) 適正数に駆除することこそ最優先にすべきでは。 (2) 弥山山塊180頭は科学的な数字か。山は荒れている。 (3) シカの利活用などを中心に伺う。	市長	

質問者	13 多々納 剛 人
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市の財政状況と予算について	1. 平成20年度からの中期財政計画に示されている財政指標は現在どのように推移しているのか、21年度予算ベースを含め伺う。 2. 中期財政計画で推計されている実質公債費率などの財政指標推計値に見直しはあるのか、また今後財政指標は予算編成にどう影響するのか伺う。	市長	
2. 斐川町との合併について	斐川町との合併に必要とされる意義や理念についての所感を伺う。	市長	
3. ブランド化の推進について	総合政策部政策企画課内に設置されている「出雲ブランド室」の役割や現在の取り組み状況について伺う。	市長	

質問者	15 曾 田 盛 雄
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市農業の将来は	1. 8月末の国政、衆議院議員の総選挙によって保守の自民党政権から、改革の民主党政権、鳩山内閣が誕生した。国会、国の政権が大きく様変わりしたことによって、市政運営にどのような影響が出ているか。今後の見通しについて伺う。 2. 政府の行政刷新会議のワーキンググループ（WG）による事業仕分けの第1弾の前半戦が終了し、農林水産省関係は非常に厳しく、来年度予算は大幅に見直し削減とか「事業仕分け」の評決結果について現在どのように認識、対応していく考えなのか伺う。 3. 出雲市の基幹産業である農業関係の大幅な予算削減は、市にとっても農業者、農業団体にとっても死活問題と考える。来年以降の出雲市農業の将来像について行政サイドでどのように分析検討しているか伺う。 その上で来年度については本市農業への影響は市独自の予算を計上してでも最小限にとどめ、持続可能な農村社会を堅持すべきと考える。市長の見識、考えを伺う。	市長	

2. 経済活性化と雇用促進策を	<p>昨年 2008 年からの金融危機による世界経済の同時不況、日本経済の停滞、雇用情勢の悪化、労働賃金の低下は依然として続いている。反面、都市の大企業及び一部の業種に於いては、改善の兆しも見られるとか。出雲市の社会経済情勢はまだまだ先が見えないと思うが市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 出雲市の産業別毎の労働人口の数と、景気の良し悪しの情報分析は把握してあるのか。その上で将来の動向はどのように推移すると考えるか伺う。</p> <p>(2) 公共工事関係予算は年々減少の一途、土木建設関係の会社経営も非常に厳しい状況にあると聞いているが、市長の見識とその対策は。</p> <p>(3) 不況時に雇用の場、市民の生活の場、収入の保障、地域社会を守ることは行政として当然維持すべきだ。その上で、先行投資になると思うが、地籍調査はぜひとも今の時代に必要と考える。市長の御所見を伺う。</p>	市長	
-----------------	---	----	--

質問者	19 直良昌幸
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 財政の健全化について伺う	市長の政治公約に掲げてある「健全な財政運営」を実施するため、「ゼロ査定」を実施するとされているが、新年度の予算編成にあたり、その基本理念と作業の進捗状況について伺う。	市長	
2. 出雲市の指定管理者制度について伺う	<p>1. 制度について概要を説明してください。</p> <p>2. この制度を採用している現況について、施設の内訳をジャンル別に示してください。</p> <p>(例) 社会福祉・文化・教育・レクリエーション・スポーツ・基盤整備・産業振興等の指定施設を%で、又主要な施設は示してください。</p> <p>3. 評価について伺う。</p> <p>4. 公正・透明な施設の管理と運営について問題はないのか伺う。</p> <p>5. 指定管理者を情報公開条例の適用対象とすべきと考えるが、その点について伺う。</p>	黒目 副市長	